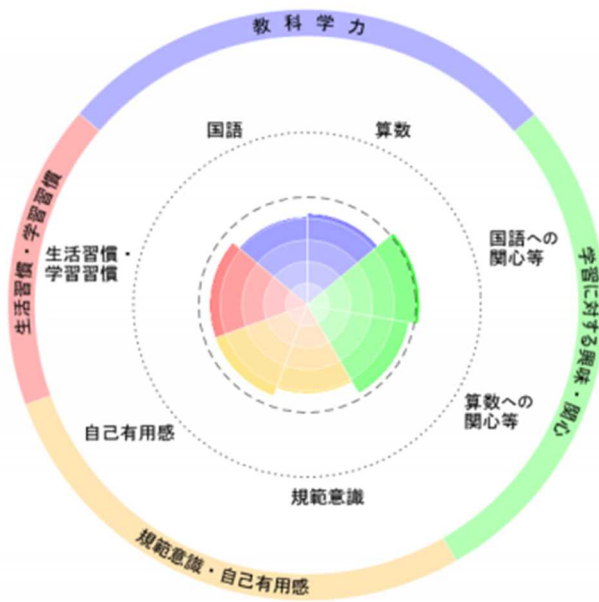


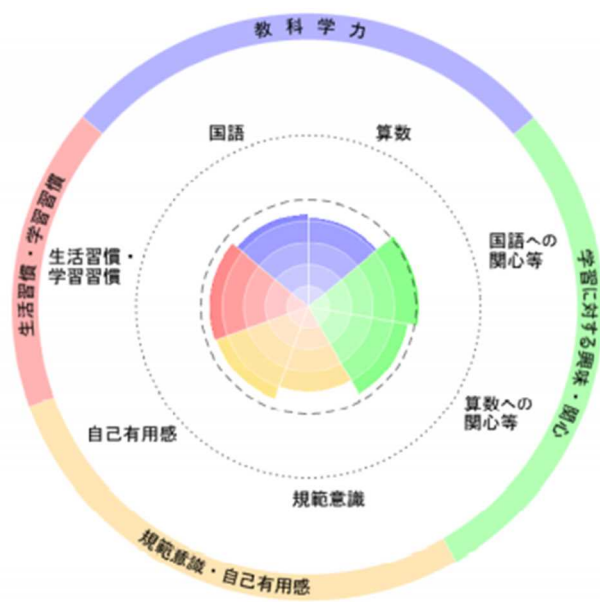
令和3年度 全国学力・学習状況調査 大門小学校の結果

1 教科別学習状況調査結果（※点線が平均値）

〈全国基準〉



〈神奈川県基準〉



〈国語 領域別平均正答率〉

	大門	神奈川	全国
国語全体	57.0 %	63.0 %	64.7 %
話すこと・聞くこと	74.0 %	78.9 %	77.8 %
書くこと	52.1 %	58.3 %	60.7 %
読むこと	38.2 %	48.7 %	47.2 %
言語事項	58.9 %	63.8 %	68.3 %

〈算数 領域別平均正答率〉

	大門	神奈川	全国
算数全体	64.0 %	70.0 %	70.2 %
数と計算	53.9 %	62.2 %	63.1 %
図形	45.6 %	57.3 %	57.9 %
測定	66.0 %	74.7 %	74.8 %
変化と関係	76.8 %	76.6 %	75.9 %

〈国語への関心に関する質問への回答状況〉

	大門	神奈川	全国
国語の勉強は好きですか。	59.8 %	59.7 %	58.4 %
国語の勉強は大切だと思いますか。	95.9 %	94.1 %	93.2 %
国語の授業の内容はよくわかりますか。	80.4 %	85.2 %	84.2 %
国語で学習したことは、将来役に立つと思いますか。	91.8 %	92.6 %	91.8 %

※A（思う）+B（大体思う）の割合

〈国語 項目別の結果分析〉

【国語】

全体において、全国及び神奈川県の前年調査結果を下回っている。特に「読むこと」に関する設問の中で、「文章と図表を結び付けて必要な情報を見つける」「要約する」設問の全国平均正答率に対する、大門平均正答率の低さが目立った。また、「主語と述語の関係を捉える」設問でも、全国平均正答率 67%に対し、大門平均正答率 46.3%であった。

国語への関心に関する質問への回答状況では、「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切だと思いますか」に関して、「思う」「大体思う」が全国・神奈川県平均を上回ったものの、「国語の授業の内容がよくわかりますか」に関しては、全国・神奈川県平均を下回る結果となった。

〈算数への関心に関する質問への回答状況〉

	大門	神奈川	全国
算数の勉強は好きですか。	63.9 %	67.3 %	67.8 %
算数の勉強は大切だと思いますか。	92.8 %	94 %	93 %
算数の授業の内容はよくわかりますか。	84.5 %	84.3 %	84.6 %
算数で学習したことは、将来役に立つと思いますか。	89.7 %	92.6 %	92.6 %

※A（思う）+B（大体思う）の割合

〈算数 項目別の結果分析〉

【算数】

全体において、全国及び神奈川県の前年調査結果を下回っている。特に「図形」に関する設問の中で、「示された図形の面積の求め方の説明ができるか」を問う設問（正答率 37.9%）や「単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できるか」を問う設問（正答率 38.9%）が低めの結果となった。

算数への関心に関する質問への回答状況では、「算数の勉強は好きですか」に関して、「思う」「大体思う」が全国平均をやや下回った。「算数の勉強は大切だと思う」や「算数の授業の内容がよくわかりますか」への回答状況は、概ね全国・神奈川県平均と同程度である。「学習したことは将来役に立つと思う」は、全国・神奈川県平均をやや下回った。

〈国語・算数における対策〉

<p><b>【国語】</b> 課題のある資質・能力 (① ②) 後期の取組 (1) (2)</p> <p>①読む力において、文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけたり、文章を要約したりす力</p> <p>②文の中における主語と述語の関係を捉えたり、話の構成を考えたりする力</p> <p>(1) 授業時間内に加え、朝学習や自学(家庭学習)の中でも、文中から必要な情報を見つける課題や主語と述語の関係を捉える課題に取り組む。必要に応じて、定期的な診断テストを実施する。</p> <p>(2) 国語科の授業の中で、話の構成を考えたり文章をようやくしたりする言語活動の充実を図る。スピーチをつくる単元では、相手意識や伝えたいことを明確にした授業展開を進める。また、ICT 機器を活用するなどし、児童がよくわかり自信をもって活動に臨める授業づくりに努める。</p>
---

<p><b>【算数】</b> 課題のある資質・能力 (① ②) 後期の取組 (1) (2)</p> <p>①複数の図形が組み合わさったり、重なったりした中で、ある箇所の面積を立式を含めて求める力</p> <p>②単位量当たりの大きさをを用いて、答えを求めたり、求め方を説明したりする力</p> <p>(1) 授業時間内に加え、朝学習や自学(家庭学習)の中でも、図形や単位量当たりの大きさの問題を解く活動を積極的に取り入れる。</p> <p>(2) 単位量当たりの大きさに関係する単元として、『比と比の値』や『比例と反比例』の単元の活動の充実を図る。単元の学習を進める中でも、考えのもととなる単位量当たりの大きさの学習の習熟を図る。</p>
---

2 生活習慣 学習習慣 (表の数字は「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童の割合%)

項目	質問内容	大門	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.9	94.9
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	80.5	82.9
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.7	89.4
(4)	携帯電話やスマホの使い方で、家の人と約束したことを守っていますか	72.2	70.1
(7)	将来の夢や目標をもっていますか	73.1	80.3
(11)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	92.8	96.8
(14)	自分の思っていることをきちんと言葉で表すことができていますか	71.1	70.3
(15)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	73.2	70.1
(16)	友達と協力するのは楽しいと思いますか	91.7	93.9
(17)	家で計画を立てて勉強をしていますか	67.1	74.0
(18)	学校の授業時間以外に1日にどれくらいの時間勉強をしますか(1時間以上の割合)	56.7	62.5
(28)	学習の中で ICT 機器を使うのは勉強に役立つと思いますか	86.6	94.5
(27)	学校で ICT 機器をどの程度使用していますか(よく使う割合)	41.2	39.0

〈生活面の結果分析と対策〉

項目	分析内容	対策
(1)(2)(3)(4)	規則正しく、健康的な生活習慣を身に付けている子どもが多い。(元気がぴかぴか週間の効果・成果)	
(7)	自分自身がなりたいたい姿や未来像について、思い描く機会が少ない。	部活動体験や授業体験を通じた瀬谷中との連携を図る。ESD、特別活動、行事、卒業に向けた活動を通して、自身の未来像を描く機会を意図的に設定する。
(17)(18)	学校の授業時間以外の学習量は、平均値と比較して少なく、計画を立てて臨めている児童も少ない。主体的に学びに向かう姿勢に課題がある。	学習を通して身に付ける力(資質・能力)は何かを、子ども自身が意識できるような授業づくりに努める。課題の明確化や振り返りを大切にし、学び方を学び、学びを実感できる子どもの姿をねらう。自学の内容や家庭学習への取組時間の見直しを図る。
(27)(28)	ICT の使用頻度の高さに対し、学習に役立つ実感が全国平均よりやや少ない。	1人1タブレット端末の授業場面での活用を図り、実践を重ね、子ども自身が ICT 機器を適切に活用していく力を伸ばす。

